

景気の動き

四 国（地域経済報告 – さくらレポート – ・日本銀行）

項目	4月判断	前回（1月判断）
総括判断	四国地域の景気は、持ち直している。	同左
公共投資	持ち直している	同左
設備投資	増加している	堅調に推移している
個人消費	物価上昇の影響を受けつつも、着実に持ち直している	同左
住宅投資	弱めの動きとなっている	同左
生産	横ばい圏内の動きとなっている	同左
雇用・所得動向	緩やかに改善している	同左

[日本銀行 2024年4月4日発表]

全 国（月例経済報告・内閣府）

項目	4月月例	3月月例	
基調判断	<p>景気は、このところ足踏みもみられるが、緩やかに回復している。</p> <p>（先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。さらに、令和6年能登半島地震の経済に与える影響に十分留意する必要がある。）</p>	同左	
個人消費	持ち直しに足踏みがみられる	同左	
設備投資	持ち直しの動きがみられる	同左	
住宅建設	弱含んでいる	同左	
公共投資	底堅く推移している	同左	
輸出入	輸出	持ち直しの動きに足踏みがみられる	同左
	輸入	このところ弱含んでいる	同左
	貿易・サービス収支	赤字となっている	同左
生産	持ち直しに向かっていたものの、一部自動車メーカーの生産・出荷停止の影響により、このところ生産活動が低下している	同左	
企業	収益	総じてみれば改善している	同左
	業況判断	改善している。ただし、製造業の一部では、一部自動車メーカーの生産・出荷停止による影響がみられる	改善している
	倒産件数	増加がみられる	同左
雇用情勢	改善の動きがみられる	同左	
物価	国内企業物価	横ばいとなっている	同左
	消費者物価	緩やかに上昇している	同左

[内閣府 2024年4月23日発表]